

# Health wave III

SW-700

ヘルスウェーブⅢ 管理医療機器

低周波・超短波組合せ家庭用医療機器 (JMDN コード：70996000)

医療機器認証番号：230ACBZX00005000

## 添付文書

# 取扱説明書

## 目次



安全上のご注意…………… 2～3

- ・正しく安全にお使いいただくために
- ・次のような場合は使用しないでください

使用上のご注意…………… 4～11

- ・身体に合った治療をしてください
- ・使用場所や状況について
- ・電源・配線は正しく
- ・本体の取扱いについて
- ・コード類 (付属品・電源コード) の取扱いについて
- ・使用前の注意事項
- ・使用中の注意事項
- ・使用後の注意事項
- ・保管とお手入れについて
- ・保守・点検について
- ・その他

エラー (E1～E3) について…………… 11

ヘルスウェーブⅢの主な特長…………… 12～13

ヘルスウェーブⅢの構成内容…………… 14～15

本体の各部名称とはたらき…………… 16～17

超短波治療の準備…………… 18～20

- ・超短波導子のセットの仕方
- ・超短波治療の基本的な使用例

超短波の操作方法…………… 21～23

検波器の使い方…………… 24

低周波治療の準備…………… 25～26

- ・粘着パッドAのセットの仕方
- ・低周波治療の基本的な使用例

低周波の操作方法…………… 27～29

操作早わかり…………… 30

故障かな?と思ったら…………… 31

保証とアフターサービス…………… 32

この度は、「ヘルスウェーブⅢ」をご購入いただきありがとうございました。  
 ●ご使用前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
 ●また、いつでもお読みいただけるよう、本体と取扱説明書、保証書を一緒に大切に保管してください。

# 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくために

## はじめに

- 取扱説明書は治療器を安全にお使いいただくために必要です。  
本治療器を人に貸したり、差し上げる時には必ずこの取扱説明書を一緒にお渡してください。
- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよく読み、正しくお使いください。
- あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記のような絵表示をしています。  
危害や損害の程度を表わしていますので、内容を理解してから本文をお読みください。



**危険**

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定される内容を示します。



**警告**

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



**注意**

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示します。

### 表示例



は、「危険・警告・注意」を促す内容です。  
※表示例は「感電注意」です。



は、してはいけない「禁止」の内容です。  
※表示例は「分解禁止」です。



は、行為を指示する「強制」の内容です。  
※表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。

※この取扱説明書のイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

## 次のような場合は使用しないでください



**危険**

下記のような医用電気機器との併用は、機器に誤作動をまねく恐れがあります。  
使用しないでください。

- ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器とは同時に使用しないでください。
- 人工心肺等の生命維持用医用電気機器
- 心電計などの装着形の医用電気機器とは同時に使用しないでください。
- 補聴器は外してください。
- 他の医療機器や電気機器とは同時に使用しないでください。



次のような人及び部位には使用しないでください。

- 高度な末しょう（梢）循環障害による知覚障害のある人（糖尿病などによる温熱に対して感覚の鈍い人）
- 血友病などの出血性素因の高い人
- 温熱に対して感覚の鈍い人や温度感覚喪失が認められる人
- 金属製物質（人工骨頭、埋没くぎ、金属製クリップなど）やプラスチックなどを体内に植え込んだ部位<sup>※1</sup>
- 刺青及びその周辺部位、ラメ素材等化粧品が使用されている部位<sup>※1</sup>
- 乳幼児（6才以下、異常に対して意思表示ができない危険があります）<sup>※1</sup>
- 適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷など）のある人
- 重度な血行障害のある部位
- 中程度以上の重い浮腫のある部位
- 出血部位または月経時の腹部<sup>※1</sup>
- 男性生殖器<sup>※1</sup>
- 頭部（脳、目、耳等）
- 萎縮性拘縮を起こしている皮膚表面<sup>※2</sup>
- 頸動脈洞上<sup>※2</sup>
- 静脈怒張の皮膚表面（静脈が浮き出る状態）<sup>※2</sup>
- その他、医師が不相当と認めた人

下記のような機器との併用はしないでください。

- 他の機器とは同時に使用しない…過度な刺激を受けたり、体調を損なったり、器械の故障の原因となることがあります。使用する場合は時間をずらして使用してください。
- 補聴器は外すこと…誤作動をまねく恐れがあります。<sup>※1</sup>



次の人は必ず医師とご相談の上、使用してください。

- 病名などがはっきりしない人
- 悪性腫瘍のある人
- 心臓に障害のある人
- 妊産婦
- 熱の高い人（38℃以上）
  - 例1) 急性炎症症状 [けん(倦)怠感、悪感血圧変動など] の強いとき
  - 例2) 衰弱しているとき
- 安静を必要とする人
- 血栓症の人<sup>※1</sup>
- 血圧に異常のある人<sup>※1</sup>
- せきつい(脊椎)の骨折、ねんざ(捻挫)、肉離れなど、急性[とう(疼)痛]疾患の人
- 低温やけどをしたことのある人<sup>※1</sup>
- 寝たきりの人<sup>※1</sup>
- 血管障害の恐れのある血圧異常の人<sup>※2</sup>
- その他、医師の治療を受けている人や身体に異常を感じている人

次の人は、介護者のもとで使用してください。

- マヒなどで身体の自由が利かない人
- 12歳以下の子供

次のような人や部位への使用は、慎重に判断してください。

- 皮膚知覚が低下している人や部位
- 成長期の骨端や骨が非常に突起した部位<sup>※1</sup>
- 認知症の人や、意思表示ができない人
- 判断能力を欠くほどお酒を飲んだ人
- 睡眠薬を飲んだ人
- 胸部近辺<sup>※2</sup>

※1…超短波に関する注意事項

※2…低周波に関する注意事項

# 使用上のご注意

## 身体に合った治療をしてください

-  **警告**
  -  身体に異常を感じたり、発赤などが現れた時は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。  
症状が悪くなる場合があります。
  -  治療目的にあった治療時間・出力を超えないように注意してください。

-  **注意**
  -  使用しても効果が現れない場合は、医師または専門家に相談してください。
  -  治療部位や症状、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。取扱説明書をよくお読みになり、定められた使用時間を超えないようにしてください。不明な点はお客様相談窓口にご相談ください。

## 使用場所や状況について

-  **危険**
  -  浴室などの湿度の高い所では使用しないでください。

### 〈超短波治療について〉

-  電位治療器などで使用する電床マットの上では、超短波を使用しないでください。  
電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。(電床マットが本体に接続されていない場合も同様です。)
-  電源が入っていない状態、あるいは電源コードを接続していなくても、導電性のあるものの上では使用しないでください。  
電気毛布や敷布、電気カーペットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。

-  **警告**
  -  水のかからない場所に設置してください。
  -  本体を寒い場所から温かい場所に移動した直後に使用しないでください。  
本体内部で「結露現象」が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤作動や故障の原因となります。使用する時は移動後2時間以上経過してから電源を入れてください。
  -  本体背面の通気孔を塞ぐような使い方（布団をかぶせたり、壁に寄せるなど）はしないでください。  
本体内部が熱をもち、故障の原因となります。

### 〈超短波治療について〉

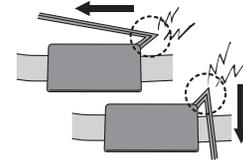
-  他の治療器や電気製品（電気毛布や電気カーペット、敷布、こたつ、あんかなど）との同時使用はしないでください。  
過度な刺激で体調を損なったり、電気製品が誤作動したり、電気カーペットが焦げるなど事故の原因となります。
-  電動ベッドの上で治療器を使用する場合は、必ず電動ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。  
誤作動や故障の原因となります。

**注意**

- ❗ 温度、湿度、日光、ほこり、及び塩分・イオン分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置してください。  
劣化を早め、事故や故障の原因となります。
- ❗ 本体は安定状態を保つように心がけ、傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないように注意してください。
- ⊘ 保護者、医師又は専門家の監督下以外では子供に使用させないでください。また、子供が機器本体及び導子の上で遊んだり、上に乗ったりしないようにしてください。

**〈超短波治療について〉**

- ⊘ 電話（携帯電話を含む）やインターフォン、テレビのリモコンやパソコン、精密機器などを使用しながら治療しないでください。また使用中の電話機やインターフォン、自動ドアや火災報知器のセンサーの近くで治療しないでください。  
電話機にノイズが入ったり、故障の原因となります。他の電気製品とはできるだけ（2m 以上）距離をあけて使用してください。他の電気製品に異常を起こしたり、逆に電気製品の影響で異常が発生したりする恐れがあります。
- ⊘ 金属枠を使用したイスやベッドなどの上で使用しないでください。  
ビリッとしたり、火傷または熱傷の原因となります。また、治療中に周囲のイスやベッドなどの金属部や、他の人に触らないよう注意してください。
- ❗ 右図のような方向に超短波導子のコードが引っぱられないように、本体を置いてご使用ください。  
コード付け根部分の芯線が断線しやすくなります。

**電源・配線は正しく****警告**

- ⊘ 交流 100V、50/60Hz 以外では使用しないでください。  
規格の異なる海外での使用は発火、ショート、感電などの原因となります。
- ⊘ コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方はしないでください。  
タコ足配線などで定格容量を超えると発熱による火災の原因となります。また、タコ足配線をするとも機器や他の電気製品がお互いに誤作動する可能性があります。

**本体の取扱いについて****警告**

- ⊘ 本体や付属品を勝手に修理したり、改造したりしないでください。  
故障かなと思ったら使用を中止し、ご購入先またはお客様相談窓口へお問い合わせください。
- ⊘ 本体ケースは絶対に開けないでください。  
内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。
- ⊘ 機器を他にぶつかけたり、倒したり、落下など強い振動や衝撃を与えないでください。  
誤って落とした場合は、必ず点検を受けてください。その時に異常がなくても内部の損傷が進み、故障、事故の原因になることがあります。
- ⊘ 本体の上に重いものや飲み物などを置かないでください。  
内部に水が入ると発火・ショートなどの事故や故障の原因となります。
- ❗ 定められた手順で操作してください。また、子供には操作させないでください。  
操作を誤ると事故や故障の原因となります。
- ⊘ 濡れた手で本体の操作は、絶対におやめください。  
感電の原因となります。

## 使用上のご注意(つづき)

- ❗ 本体や付属品が傷ついたり破損している場合は、使用しないでご購入先またはお客様相談窓口へご連絡ください。
- ❗ 間違った使用や乱暴な取り扱い、あるいは長年の使用は、コードの断線などにより、火傷または熱傷・火災など思わぬ事故の原因となることがあります。

### コード類（付属品・電源コード）の取扱いについて



**警告**

- ❌ 導子に金属を接触させたり、出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差し込まないでください。また、導子のコードには金属類を近づけたり、他の電気のコードと交わらないようにしてください。  
感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。
- ❌ 本体の出力口に差し込んだプラグを踏みつけたり、大きな力を加えたりしないでください。プラグや出力口が破損し、事故や故障の原因となります。
- ❌ 電源コードなどすべてのコード類を傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないでください。
- ❌ コード類のプラグにゴミ、ほこりなどを付着させたまま使用しないでください。  
発火、ショートなどの原因となります。
- ❌ 導子を強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重い物を乗せたりしないでください。
- ❗ すべてのコードは容易に離脱しないように正しく、確実に接続してください。  
発火やショートなどの原因となります。

#### 〈超短波導子について〉

- ❌ 超短波導子は水に濡らさないでください。万一濡らしてしまった場合は、使用せず、新しい導子と交換してください。
- ❌ 超短波導子とイス・ベッド・床などの間にコードが挟まった状態で使用しないでください。  
導子がコードに作用して、異常発熱する恐れがあります。
- ❌ 超短波導子が身体とイス・ベッド・床などの間で強く圧迫された状態でのご使用はお避けください。  
導子が発熱したり、火傷または熱傷をする恐れがあります。またイス・ベッド・床・ふとんなどが焦げる恐れもあります。
- ❌ 2つの導子が重なる状態で放置したり、重ね合わせて使用しないでください。導子コードを束ねたり、巻きつけて使用しないでください。  
熱をもち事故や故障の原因となります。
- ❗ 超短波導子にソース・醤油・墨汁・インクなどをこぼした場合は、火傷または熱傷、ならびに焼け焦げの原因となりますので、新しい導子と交換してください。
- ❗ 導子コードは特性上、使用中に一定の熱を持ちます。また、長時間の使用や使用方法、出力設定などによっては、温度が上昇することがあります。
- ❌ 使用中の導子を本体や金属類（電気製品、ワゴン、ラメ入り畳や座布団など）、付属品類（粘着パッド A、接続コードなど）の上に絶対に置かないでください。  
熱をもち事故や故障の原因となります。

**⚠ 注意**

- ⊘ 指定以外の付属品は使用しないでください。
- ⚠ コード類の抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。  
コードを持って行くと断線やショートなどの原因となります。

**〈超短波導子について〉**

- ⚠ 導子コードは、超短波の影響を受けやすいもの（金属や炭素繊維など）や、他の電気製品のコードと接触しないように配置してください。

**〈ワイドベルト付導子カバーについて〉**

- ⚠ お手入れは水またはぬるま湯を含ませた布を固く絞り、拭いてください。汚れがひどい場合には軽く手もみ洗いをしてください。  
洗濯機での洗濯や手もみ洗いで強く洗ったり、何度も洗ったりすると縮んだり、変型したりする恐れがあります。

**使用前の注意事項****⚠ 危険****〈超短波治療について〉**

- ⊘ 超短波治療をする場合、接続コードは、必ず本体から抜いてください。また、粘着パッドAは身体から外してください。火傷や、焼け焦げの原因となります。

**⚠ 警告**

- ⚠ 導子（コード、プラグを含む）の損傷やコネクタの接続不良などが無いか、使用前に確認してください。万が一、不具合が確認された場合は、使用しないでください。  
ご購入先またはお客様相談窓口へお問い合わせください。

- ⚠ 導子を使用する際は、正しく装着してください。また、同じ部位で2つの導子を重ねて治療しないでください。

- ⚠ しばらく使用しなかった治療器を再使用するときは、使用前に必ず治療器が正常かつ安全に作動することを確認してください。また、6ヶ月以上使用しなかった場合は、使用前にご購入先で点検を受けてください。  
スイッチなどを入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。

**〈超短波治療について〉**

- ⊘ 気分が悪くなることがありますので、空腹時、腹部に超短波を透射することは避けてください。
- ⊘ 治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないでください。  
特にペットへの使用は避けてください。

- ⊘ おむつを使用している部位へは照射しないでください。  
火傷などの危険があります。

- ⊘ 絆創膏または湿布などの湿った包交物、金属物を含む絆創膏の上への照射は避けてください。

- ⚠ 次のものを身に付けたまま使用しないでください。
  - ・ 使い捨てカイロ
  - ・ 金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリング、車のキー（キーレスエントリーキー含む）など）
  - ・ 導電性衣料（光により熱が高まる機能繊維、サンダーロン®繊維使用もしくはジャンヌ・ダルクなどのサンダーロン®繊維を含む肌着などの衣料、ラメ入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静電気防止用繊維など）

また、次のようなものの上や周囲では使用しないでください。

- ・ 特殊綿（プラチナ繊維、トルマリンなど）や炭素材入り布団・まくら
- ・ 磁気入り布団
- ・ 墨入り（炭素材など）の畳

## 使用上のご注意(つづき)

- ・ソース・醤油・墨汁・インクなどのシミがついた座布団・布団・畳

火傷または熱傷などの事故の原因となります。

- ❗ 治療部位の皮膚が乾燥していることを確認してください。湿布剤、塗膏剤などが塗られていたり、汗などで濡れている場合は、必ず拭き乾燥させてください。また、治療中に汗をかいた場合は、すぐに拭いてください。

皮膚が濡れたままで治療すると火傷または熱傷の原因となります。

### ⚠ 注意

- ❗ 調節つまみ、スイッチなどが正常に作動するか確認してください。

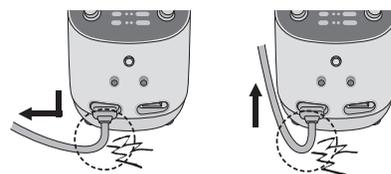
### 使用中の注意事項

### ⚠ 警告

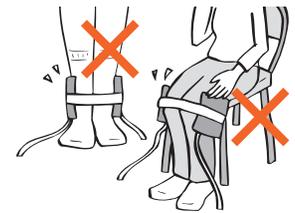
- 🚫 他の治療器の部品や付属品などを流用しないでください。規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。
- ❗ 本器に異常を感じた時（異常音がする・本体が熱いなど）は、直ちに使用を中止してください。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ⚡ 雷や地震、停電時は使用を中止し、調節つまみ、スイッチなどを元の位置に戻し、電源プラグをコンセントから抜いてください。復帰時に事故や故障の恐れがあります。

### 〈超短波治療について〉

- ❗ 治療中、温感が高すぎると感じた時は、我慢せずに治療を中止してください。または、タオルなどをあてて、熱さを弱めて治療してください。無理して治療を続けると火傷の原因となります。
- ❗ 使用当初、低血圧や貧血、または虚弱体質の人は、疲労感を覚えることがあります。また、身体異常（発赤、腫脹、頭痛、ふしぶしの痛みなど）が現れたり、感じた時は、直ちに使用を中止してください。中止しても症状が軽減しない場合は、医師に相談してください。
- ❗ 超短波導子は素肌の上から直接あてず、またコードも直接素肌に触れないようにして、必ず乾いたタオルや服の上からあててください。直接あてると、火傷または熱傷などの原因となります。
- ❗ ひじ・膝など骨のとび出た部位へ導子をあてる時は、衣服の上から使用する場合でも、乾いたタオルをあてがってください。火傷の原因となります。
- ❗ 使用中、右図のような方向にコードを引っばらないでください。また、超短波導子を抜く際は、プラグを持って抜いてください。プラグの根元や内部で断線しやすくなります。



- ⊘ 足首や膝を合わせた状態で左右両側から導子をあてる治療は絶対にしないでください。タオルなどをあてがっても、左右の足が触れることがあり、接触部に火傷を起こす恐れがあります。
- ⊘ 汚れた衣服や汗などで濡れたタオルを使用して治療をするのはおやめください。



#### 〈低周波治療について〉

- ⚠ 粘着パッド A を使用し、身体に異常を感じたり、発疹、発赤、かゆみなどが現れたりした場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。
- ⚠ 身体が慣れてからも、「快く感じる」程度の出力で治療してください。
- ⚠ 刺激感覚が低下している方は、はじめは通常よりも出力を特に弱めにしてください。
- ⚠ 低周波出力レベル調節つまみは、必ず「0」の位置から出力を上げてください。安全回路が働いて、途中位置からでは出力されません。故障かなと思ったら、低周波出力レベル調節つまみを確認してください。

#### ⚠ 注意

- ⚠ 使用中、導子コードの抜き差しをしないでください。また、抜く時は電源が切れていることを確認してください。  
事故や故障の原因となります。
- ⚠ 使用を中断する場合や使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
導子のプラグも出力口から抜くなど、治療後は使用前の状態に戻してください。

#### 〈超短波治療について〉

- ⊘ 治療中、超短波導子やコードをむやみに触らないようにご注意ください。  
チリッと熱い感覚を受けることがあります。
- ⊘ 厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。
- ⚠ 本器は使いやすい姿勢で、緊張せずにリラックスして治療してください。

### 使用後の注意事項

#### ⚠ 注意

- ⚠ 電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ⚠ 調節つまみ、スイッチなどを元の位置に戻した後、電源を切ってください。
- ⚠ 粘着パッド A と皮膚は使用后、清拭して常に清潔にしてください。
- ⊘ 機器を衛生的に保つための清掃、予防点検及び保守に関しては「保管とお手入れについて」「保守・点検について」を参照してください。

# 使用上のご注意(つづき)

## 保管とお手入れについて

- 

 本体のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電などの事故の原因となります。
- 
 本体及び付属品のお手入れに際しては、シンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。変色、変質の原因となります。アルコール、水、ぬるま湯又は中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭いてください。
- 
 お子様の手の届かない所に保管してください。落としてけがや破損の原因となります。

- 

 風呂場、台所、車の中、火気の近く、直射日光の当たる場所など、温度や湿度の高い場所やほこりの多い場所、水のかかる場所ならびに塩分・イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのある場所には保管しないでください。機器の寿命を縮めたり、熱や水分などにより本体変形や、火災や感電などの原因となります。
- 
 次回の使用に支障がないように清浄にし、付属品ケースに入れて、整理保管してください。また、お手入れは水かぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。水洗いなどはしないでください。変色・変形の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。
- 
 長期間ご使用にならない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

## 保守・点検について

- 

 事前のチェックや点検などで不具合（付属品の絶縁：電源コードなどコード類のキズ、ひび割れ、断線の可能性、電源プラグやコネクタの接続不良など）が見られた場合は、必ずご購入先またはお客様相談窓口にご連絡ください。
- 
 しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。
- 
 機器及び付属品は使用に際し、正しく作動することを日常的に点検してください。
- 
 超短波導子は消耗品です。より安全にお使いいただくために、無理な使用は避け、丁寧に取り扱いってください。また、使用頻度、条件により異なりますが、ご家庭で通常の使用状態で、年1回は点検を受け、付属品は遅くとも3年以内で早めに交換してください。万一、コードに折れやキズ、焦げ跡があったら使用を中止し、即交換してください。
- 
 3年以上使用した付属品による事故については、販売元または製造販売元は責任を負いかねる場合があります。

## ⚠ 注意

- ！ 本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。特に導子類の付属品は消耗品ですので、定期的に交換してください。  
使用状態・条件により異なりますので、ご購入先またはお客様相談窓口へお問い合わせください。

## その他

## ⚠ 警告

- ！ 機器及び付属品または容器・包装品などを廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。

- ！ 一度使用した医療機器（中古医療機器）を業として他に販売、譲渡または貸与する場合は、必ず事前にご購入先またはお客様相談窓口へご連絡ください。

点検・修理を行い安全を確認された機器以外は、販売・貸与・譲渡はできません。

注）販売・貸与を業として行うには、「管理医療機器販売業」と「管理医療機器貸与業」の届けをして、さらに「古物営業法」の許可を受けていることが必要です。

## エラー (E1~E3) について

治療中に不具合が発生したとき、治療タイマー表示部にエラーが表示されます。下記に従って対応してください。

表示	主な状況	対応
E1	◎超短波出力口①に導子のプラグが正しく差し込まれていない。または、プラグが抜けている。	導子のプラグを出力口①に確実に差し込み、超短波出力開始 / 停止スイッチを押してください。停止したときの残時間から開始します。
	◎低周波出力口①に接続コードのプラグが正しく差し込まれていない。または、プラグが抜けている。または、粘着パッドが身体から剥がれた。	接続コードのプラグを出力口①に確実に差し込む、または、粘着パッド A を確実に貼り付けてください。その後、低周波出力レベル調節ツマミを「0」の位置から時計まわりにゆっくりとまわし強さを調節してください。停止したときの残時間から開始します。
E2	◎超短波出力口②に導子のプラグが正しく差し込まれていない。または、プラグが抜けている。	導子のプラグを出力口②に確実に差し込み、超短波出力開始 / 停止スイッチを押してください。停止したときの残時間から開始します。
	◎低周波出力口②に接続コードのプラグが正しく差し込まれていない。または、プラグが抜けている。または、粘着パッド A が身体から剥がれた。	接続コードのプラグを出力口②に確実に差し込む、または、粘着パッド A を確実に貼り付けてください。その後、低周波出力レベル調節ツマミを「0」の位置から時計まわりにゆっくりとまわし強さを調節してください。停止したときの残時間から開始します。
E3	◎本体の異常が考えられる。	電源を入れ直してください。それでもエラーが表示される場合は使用を中止し、ご購入先またはお客様相談窓口へご連絡ください。

# ヘルスウェーブⅢの主な特長

- 1台で2種類の電子療法が行えます。

## 超短波治療法

衣服や乾いたタオルの上から使用します。  
電波の作用で身体の内側からあたためます。

- 2つの超短波導子を使い、2ヶ所の部位を治療できるのでより効果的です。
- 治療部位に応じた出力レベルの選択により簡単に治療ができます。

## 低周波治療法

皮膚に直接あてて、電流が神経や筋肉を刺激して治療します。

- |                 |             |  |
|-----------------|-------------|--|
| ● 肩、腰、膝、<br>神経痛 | <b>TENS</b> | 身体を心地よく刺激し、筋肉のこりをほぐす効果があります。             |
| ● トレーニング        | <b>EMS</b>  | 筋肉を刺激し、マヒした筋肉の萎縮の予防に効果を発揮します。            |
| ● 急痛            | <b>MCR</b>  | 人間の身体にある、弱い電流によく似た微弱電流を使用し、筋肉の痛みをやわらげます。 |

- 分かりやすい表示で操作もシンプルなので、毎日手軽に使えます。

## 使用目的又は効果

使用目的：一般家庭で使用するこ

### 超短波療法

#### ■ 超短波による局所の温熱効果

- 疲労回復
- 血行をよくする
- 筋肉の疲れをとる
- 筋肉のこりをほぐす
- 神経痛・筋肉痛の痛みの緩解
- 胃腸の働きを活発にする

### 低周波療法

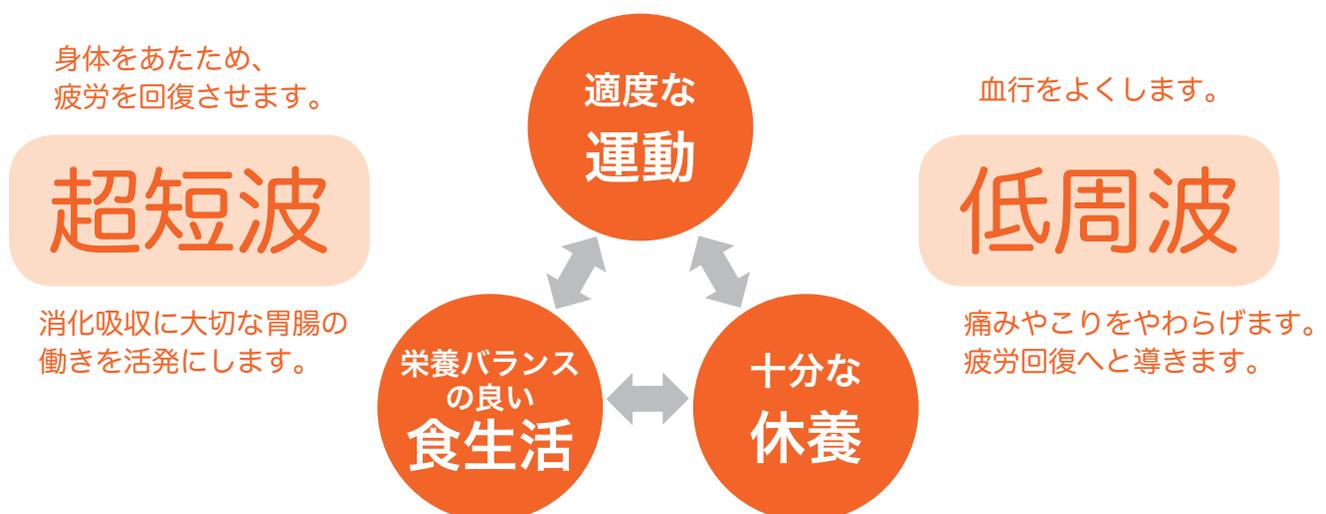
- 肩こりの緩解
- 麻痺した筋肉の萎縮の予防
- マッサージ効果
- 疲労回復
- 血行をよくする
- 筋肉の疲れをとる
- 筋肉のこりをほぐす
- 神経痛・筋肉痛の痛みの緩解

## ●健康の3要素について.....

病気にかかるとあわてて医者に通ったりするのに、治るとまた不健康な生活に逆戻り。これでは、いつまでたっても健康な生活を送ることはできません。それよりも、病気にならない健康な身体をつくるのが大切。毎日、バランスを考えて食事を取り、適度な運動をし、心や身体を休めること。つまり、栄養・運動・休養が必要なのです。これを“健康の3要素”と言います。

## ●健康の3要素と電子療法の働き.....

「栄養バランスの良い食生活」・「適度な運動」・「十分な休養」の3要素の調和が健康の秘訣です。健康の3要素を意識しながら、超短波療法・低周波療法の2種類の電子療法を、健康的な生活にお役立ててください。



## ●電子療法と健康の3要素.....

### 超短波療法

超短波をあてると、身体の内部からあたたまってくるのがわかります。この内部からの熱は、血行をよくし、胃腸の働きを高めます。

### 低周波療法

低周波は、電流の刺激で神経や筋肉にはたらきかけます。手足の神経を刺激し、痛みやマヒなどに効果があるとともに、筋肉をマッサージし、こりなどをやわらげ、血行をよくする効果があります。

# ヘルスウェーブⅢの構成内容

本器を初めて使う前に、以下の付属品が揃っているか必ずご確認ください。

## 本 体

※本体の各部名称とはたらきは  
P.16～17をご覧ください。



定格電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	最大63W（低周波：3W 超短波：63W）
本体寸法（mm）	282（幅）× 417（高さ）× 281（奥行き）
本体重量	約3.7kg

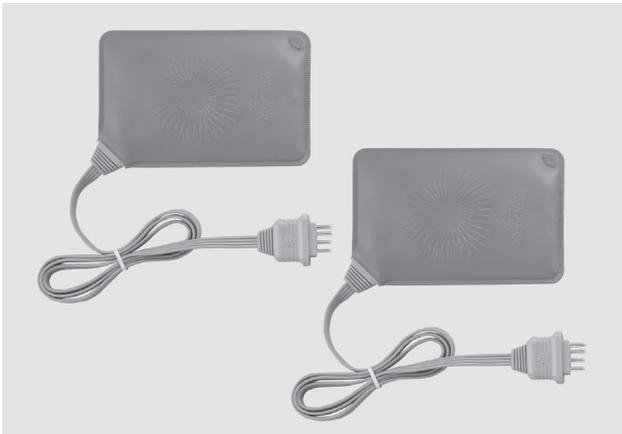
### ■超短波

定格出力電力	最大12W±20%
周波数	27.12 MHz±162.72 kHz
タイマー	20分

### ■低周波

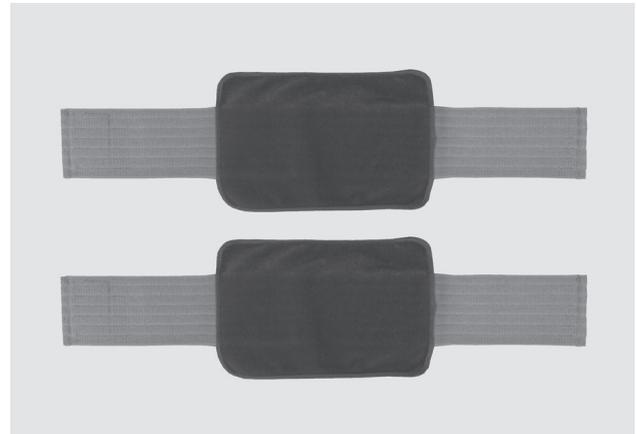
最大出力電流	16.0mA（実効値） ±25%
基本周波数	最大250Hz±25%
定格出力電圧	80.0V±25%
タイマー	20分（急痛のみ60分）

## 付 属 品



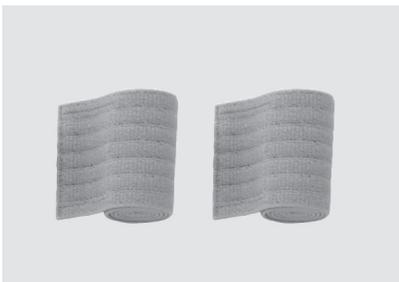
### 超短波導子：2個

超短波を使用する時に、治療する部位にあてます。  
必ずワイドベルト付導子カバーに入れて使用してください。  
2つの導子を使って治療することができます。



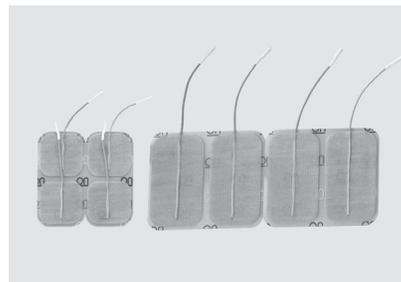
### ワイドベルト付導子カバー：2個

超短波導子専用のカバーです。  
治療する部位に装着ベルトで固定して使用します。



### 装着ベルト(S・AW)：2本

治療する部位がワイドベルト付導子  
カバーの装着ベルトの長さでは  
足りないときに使用します。



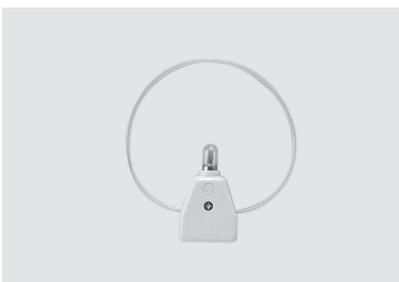
### 粘着パッドA (Mタイプ)：1セット 粘着パッドA (Lタイプ)：1セット

低周波を使用する時に、接続コードに  
接続し、治療する部位に貼り付けます。



### 接続コード：2本

粘着パッドAに接続し、プラグを本  
体に差し込みます。



### 検波器 (MW)：1個

超短波が正しく出力されているか、  
確認することができます。



### 付属品ケース：1個

付属品の収納ケースです。  
使用后、付属品は清潔にし、整理保管  
してください。



### 電源コード：1本

本体の電源コード差込口に接続し、プ  
ラグを100Vコンセントに差し込みま  
す。

# 本体の各部名称とはたらき

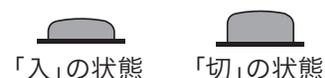
## 〈正面〉



**操作パネル**

**電源スイッチ**

スイッチを押して、電源の「入」「切」を行います。



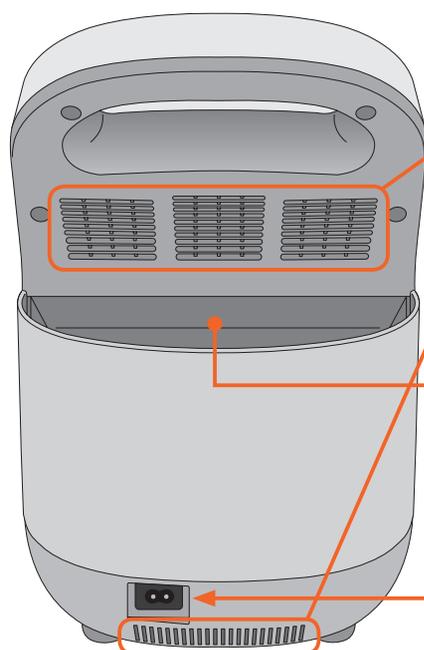
**低周波出力口 ①(CH1)・②(CH2)**

接続コードのプラグを差し込みます。

**超短波出力口 ①(CH1)・②(CH2)**

超短波導子のプラグを差し込みます。2つの導子を使用する場合は、導子のプラグをそれぞれ、超短波出力口①と②に差し込んでください。

## 〈背面〉



**通気孔**

布団をかぶせたり、壁に寄せたりして、通気孔をふさがないでください。本体内部が熱をもち、故障や発火の原因となります。また、通気孔にほこりがつかないように、定期的に掃除機などで吸い取ってください。

**付属品収納用スペース**

付属品を保管することができます。  
※超短波導子を付属品収納用スペースに入れたまま治療を開始しないでください。

**電源インレット  
(電源コード差込口)**

電源コードを差し込みます。使用しない時は、必ずコンセント及び電源コード差込口からコードを抜いてください。  
※以下、「電源コード差込口」と記載します。



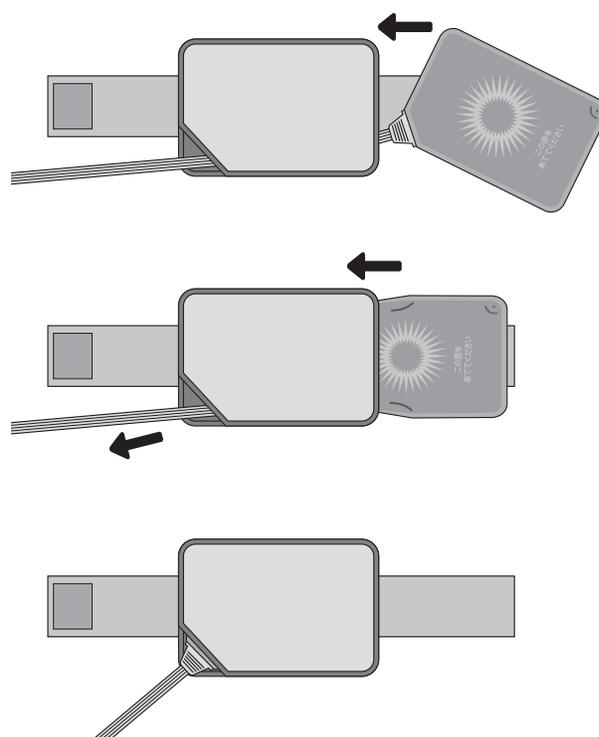
# 超短波治療の準備

## 超短波導子のセットの仕方

### 超短波導子をワイドベルト付導子カバーに入れる

- 1** 超短波導子の☼マーク側とワイドベルト付導子カバーの内側(オレンジ色の方)の向きを合わせ、導子のプラグとコードをカバーの穴に通します。
- 2** ワイドベルト付導子カバーの入り口は超短波導子が抜けないように若干狭くなっているため、導子をやや丸めながら入れてください。
- 3** 超短波導子全体をワイドベルト付導子カバーに納め、カバーに入れた導子を平らに伸ばしてください。

※超短波導子は必ずワイドベルト付導子カバーに入れて使用してください。  
 ※無理にコードを引っ張らないでください。

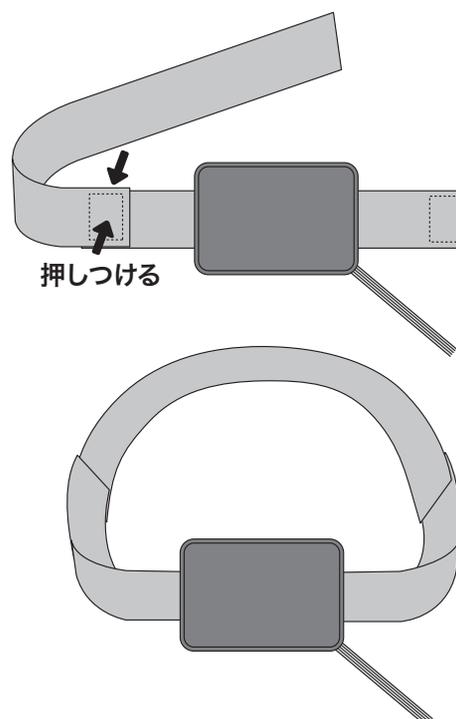


### 装着ベルト〈S・AW〉を使い長さを調節する

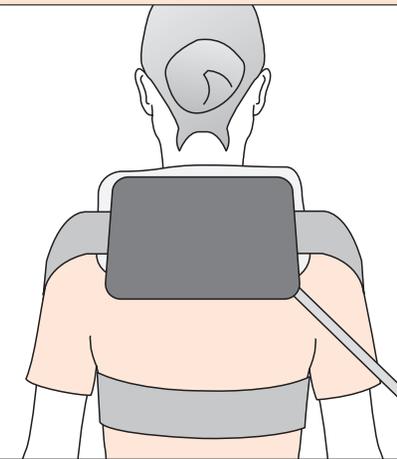
超短波導子を治療部位にあてる場合に、ワイドベルト付導子カバーに付いている装着ベルトでは長さが足りない場合は、付属の装着ベルト〈S・AW〉を使って長さを調節してください。

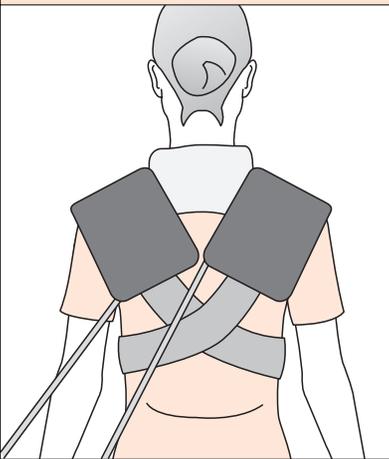
- 1** 装着ベルト〈S・AW〉のマジックテープ部分を、ワイドベルト付導子カバーの装着テープの付いていない方に貼り付けます。
- 2** 治療する部位に超短波導子をあてたら、ワイドベルト付導子カバーに付いているマジックテープ部分を、装着ベルトかワイドベルト付導子カバーの適当な場所に貼り付けて、固定してください。

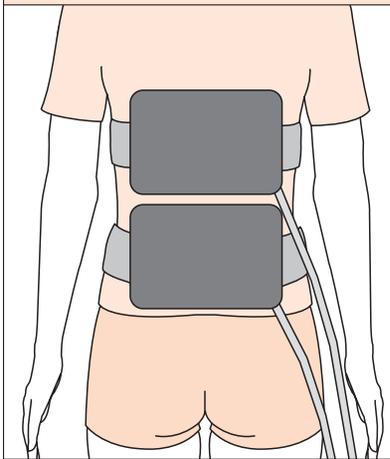
※治療の際にはワイドベルト付導子カバーの内側(オレンジ色の方、超短波導子では☼マーク側になります)を必ず身体側にしてください。内側(超短波導子の☼マーク側)が身体側に向いていないと、十分な治療効果が得られません。

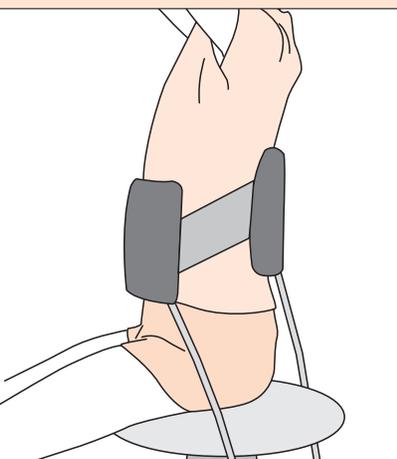


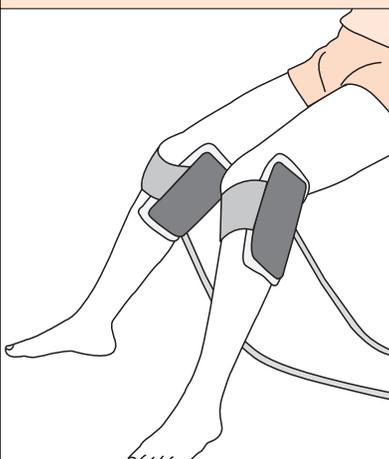
## 超短波治療の基本的な使用例

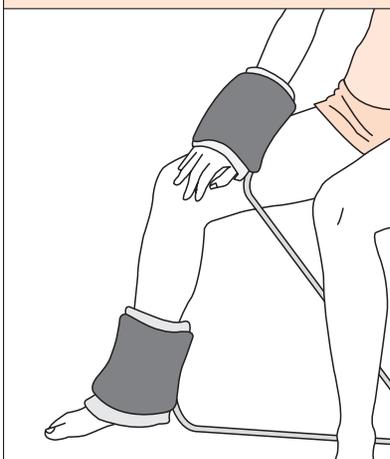
首
背骨を中心に頸部の裏側へ導子をあててください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○出力レベル/弱～中</li> <li>○治療時間/ 20分</li> <li>○1日の治療回数/ 1～2回</li> </ul>

肩
肩甲骨の上に導子をあててください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○出力レベル/中～強</li> <li>○治療時間/ 20分</li> <li>○1日の治療回数/ 1～2回</li> </ul>

背中と腰
肩甲骨の下と腰に導子をあててください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○出力レベル/中～強</li> <li>○治療時間/ 20分</li> <li>○1日の治療回数/ 1～2回</li> </ul>

腹部と背中
おへその真上と肘の高さに導子がくるようにあててください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○出力レベル/中～強</li> <li>○治療時間/ 20分</li> <li>○1日の治療回数/ 1～2回</li> </ul>

膝
膝の裏に導子をあててください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○出力レベル/弱～強</li> <li>○治療時間/ 20分</li> <li>○1日の治療回数/ 1～2回</li> </ul>

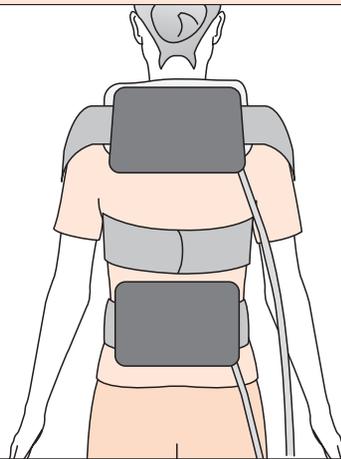
手と足
手と足に導子をあててください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○出力レベル/弱～強</li> <li>○治療時間/ 20分</li> <li>○1日の治療回数/ 1～2回</li> </ul>

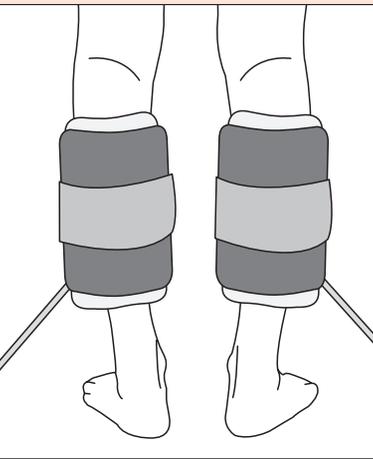
※導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。

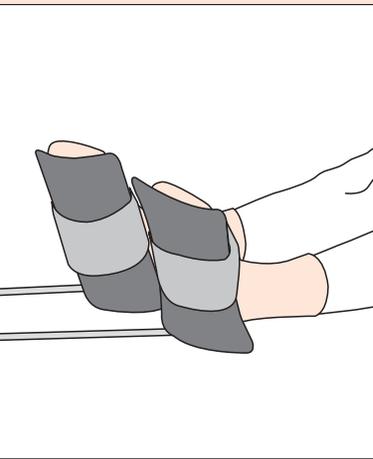
※導子を並べて使用するときは、2つの導子が重ならないようにしてください。

# 超短波治療の準備 (つづき)

## 超短波治療の基本的な使用例 (つづき)

首と腰
頸部の裏側と腰に導子をあててください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○出力レベル/首：弱～中 腰：中～強</li> <li>○治療時間/ 20分</li> <li>○1日の治療回数/ 1～2回</li> </ul>

ふくらはぎ
ふくらはぎに導子をあててください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○出力レベル/弱～強</li> <li>○治療時間/ 20分</li> <li>○1日の治療回数/ 1～2回</li> </ul>

足裏
足の裏に導子をあててください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>○出力レベル/弱～強</li> <li>○治療時間/ 20分</li> <li>○1日の治療回数/ 1～2回</li> </ul>

※導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。

### 超短波導子を使用する際の警告

下記の点に注意して、正しく導子を使用してください。

- 導電性の衣類を着用して治療しないでください。
- 使い捨てカイロやネックレス、ベルトなどの金属類は身体から外してください。
- 導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。
- 電位治療器(高周波・負電荷を含む)などで使用する電床マットの上では、絶対に治療しないでください。
- 治療する時は皮膚の汗などを拭いてください。
- 濡れている導子は使用しないでください。
- 治療前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作動するか確認してください。
- 2つの導子を使う場合は、導子を重ね合わせないでください。また、2つの導子コードが絡み合ったり、巻きついたりしないようにしてください。
- 2つの導子で2人を同時に治療しないでください。
- 2つの導子で同じ部位を治療しないでください。
- 導子は必ず装着ベルトで固定してください。
- 治療中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。
- 厚手の衣服や、タオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。
- 足首や膝を合わせた状態で左右両側から導子をあてる治療は、絶対しないでください。タオルなどをあてがっても左右の足が触れることがあり、接触部に火傷を起こす可能性があります。

# 超短波の操作方法

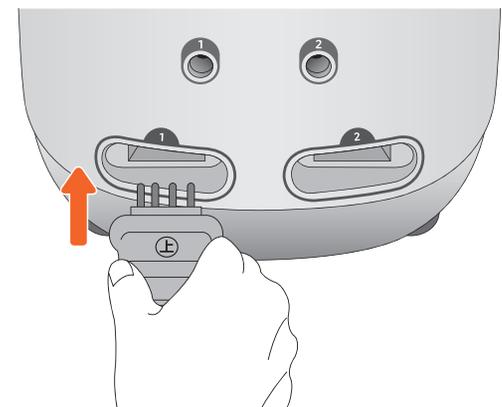
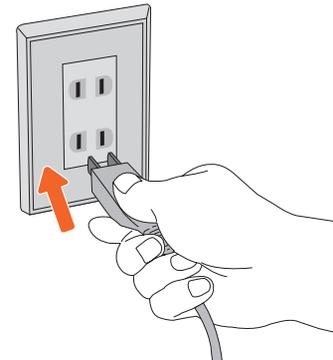
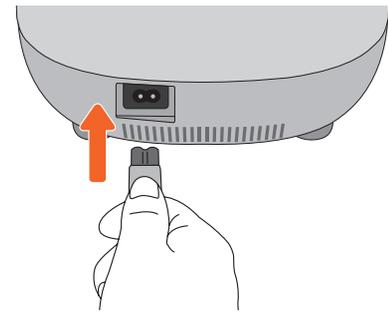
## 1 プラグを差し込む

- 電源コードを本体の電源コード差込口に差し込みます。
- 本体の電源が切れていることを確認し、電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込みます。
- ワイドベルト付導子カバーにセットした超短波導子 (P.18 参照) を治療する部位 (P.19～20 参照) にあてて、固定します。
- 使用する超短波導子のプラグを超短波出力口①に差し込みます。

※プラグに (上) と記載してある面が上側になるように差し込みます。

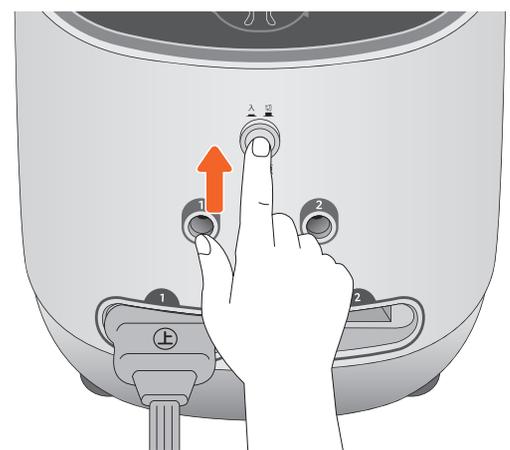
※超短波導子を1つで使用する場合は、導子のプラグを出力口②に差し込んで使用できます。

※超短波導子を2つ使用する場合は、もう一方の導子のプラグを出力口②に差し込みます。



## 2 電源を入れる

- 電源スイッチを押して、電源を入れます。
- 「治療モード表示 (超短波)」、「治療モード表示 (低周波)」、「超短波出力レベル表示」、「低周波治療プログラム表示」、「ゼロスタート表示」、「治療タイマー表示」が点滅します。



※初期状態では「超短波」モードの出力レベル「弱」に設定されています。「治療モード表示 (超短波)」、「治療タイマー表示」が点灯し、「超短波出力レベル表示 "弱"」が点滅します。

※2回目以降は、前回使用時のモード (出力レベル、治療プログラム) が表示されます。

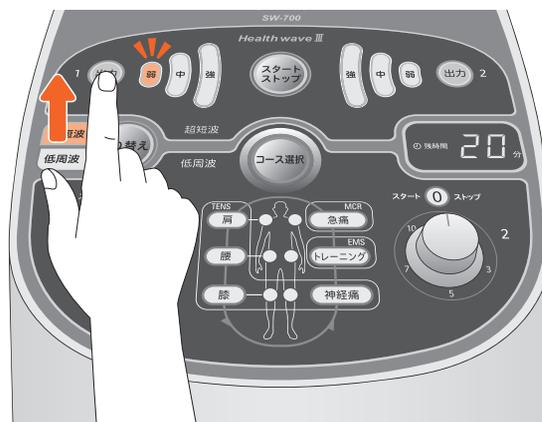
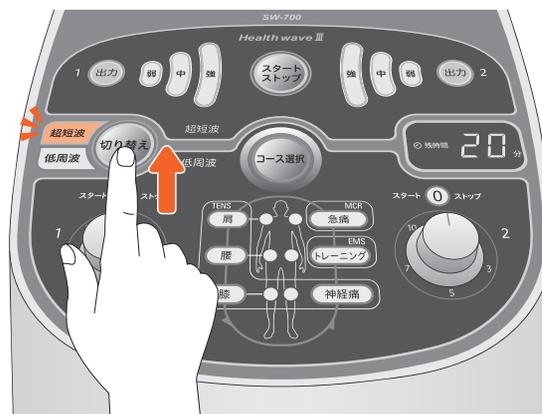
# 超短波の操作方法 (つづき)

## 3 出力レベルを選択する

- 治療モード選択スイッチを押し、超短波モードを選択します。
- 超短波出力レベルを超短波出力レベル選択スイッチを押して選択します。
- 超短波出力レベル選択スイッチを1回押すごとに、超短波出力レベル表示が次のような順番で切り替わります。

「弱」 → 「中」 → 「強」

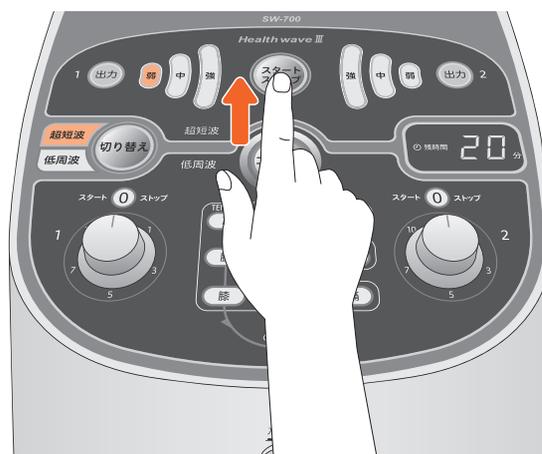
※超短波導子を2つ使用する場合は、超短波出力レベル選択スイッチCH2を押して、超短波出力レベルを選択します。



## 4 治療を開始する

- 超短波出力開始/停止スイッチを押して、治療を開始します。超短波出力レベル表示が点滅から点灯に変わります。

※治療中に超短波出力レベルを変更する場合は、超短波出力レベル選択スイッチを押して出力レベルを選択します。  
 ※超短波導子をCH1のみ使用して治療を行なっている場合、超短波出力レベル表示はCH1のみ点灯します。また、途中でもう一方の導子を出力口②に差し込んでみても認識されません。

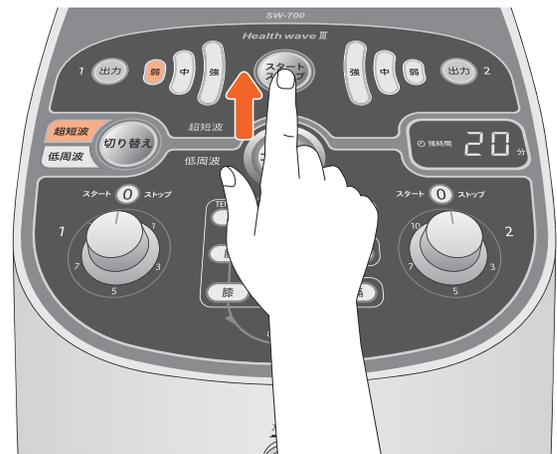


- 治療タイマー（治療時間）は20分に自動設定されます。

※治療タイマーの設定は変更できません。

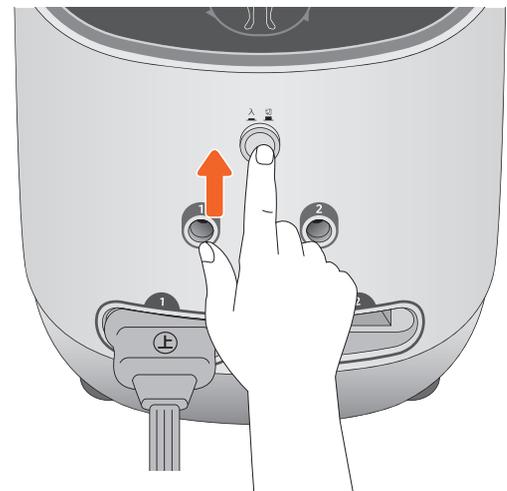
## 5 治療を中断する場合

- 治療を中断する場合は、超短波出力開始 / 停止スイッチを押します。
- 超短波出力レベル表示が点灯から点滅に変わり、出力が停止します。  
※タイマーは 20 分にリセットされます。
- 治療を再開する場合は「3 出力レベルを選択する」(P.22 参照)に戻り、手順に従ってください。



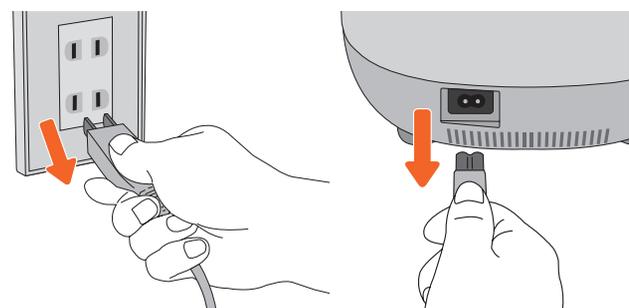
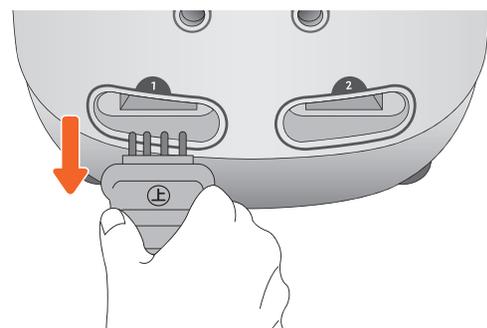
## 6 治療の終了

- 治療が終了すると治療タイマー表示が "0" を表示し、ブザー音が鳴り、出力が自動的に切れます。
- 治療を引き続き行う場合は「3 出力レベルを選択する」(P.22 参照)に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して電源を切ります。
- 電源が切れると「治療モード表示 (超短波)」、「治療タイマー表示」の点灯と「超短波出力レベル表示」の点滅が消えます。



## 7 整理、保管について

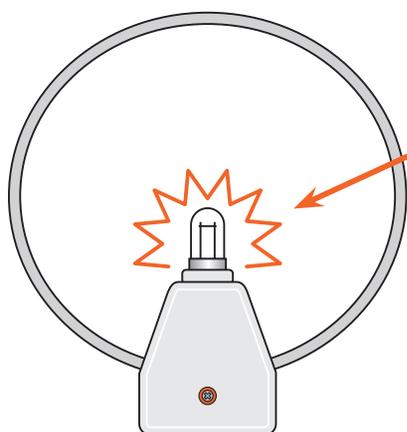
- 使用した超短波導子のプラグを超短波出力口から抜きます。
- 電源コードのプラグをコンセントから抜きます。
- 電源コードを本体の電源コード差込口から抜きます。
- 次の使用に支障がないように本体及び付属品を清潔にし、整理保管してください。
- 付属品は、付属品ケースまたは付属品収納用スペースに入れてください。



# 検波器の使い方

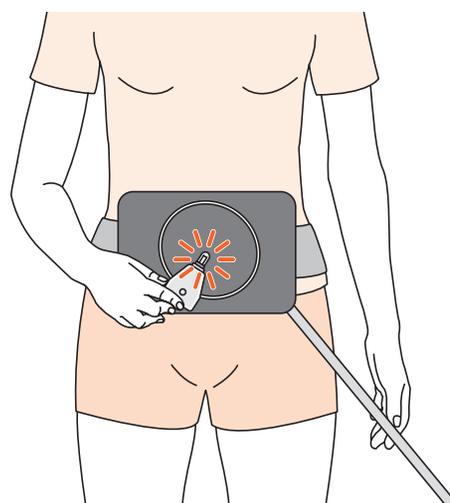
超短波の出力を確認する

## 使用例



### ランプ

超短波が出力されているとランプが発光します。



## 検波方法

**1** 超短波治療の準備から超短波の操作方法までの手順に従ってください。(P.18～23 参照)

- 超短波導子を装着する
- 超短波導子のプラグを超短波出力口に差し込む
- 電源を入れる
- 治療モードを超短波に切り替える
- 出力レベルを選択する
- 治療を開始する

**2** 検波器を手に持ち、通電中の導子に近づけます。(使用例参照)

**3** 検波器のランプが約 2 秒おきに発光すれば正常です。

**4** 使用後は、検波器を付属品ケースに収納し、保管してください。

### ⚠ 検波方法のご注意

- 他の製品の検波器を使用しないこと。ランプが切れる恐れがあります。
- 導子コードが絡んだり、巻き付いた状態で行わないこと。ランプが切れる恐れがあります。
- 長時間の検波は避けてください。

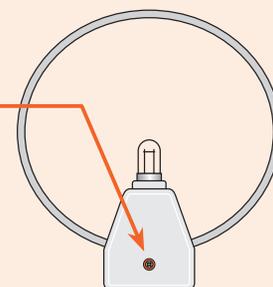
※使用しているとランプがゆるむことがあります。発光しなかったり、外れる恐れがありますのでランプをゆっくりと確実に締めつけてください。

※導子のあて方などにより発光に差が生じることがありますが、出力には問題ありません。

※発光しない、発光が弱い・強い場合などは小さなマイナスドライバーを使い、「調節ネジ(右図)」を左右にゆっくりと回してください。発光を調節することができます。

### 調節ネジ

ネジは表と裏にありますが、黄色いフチのあるネジをマイナスドライバーで調節します。



# 低周波治療の準備

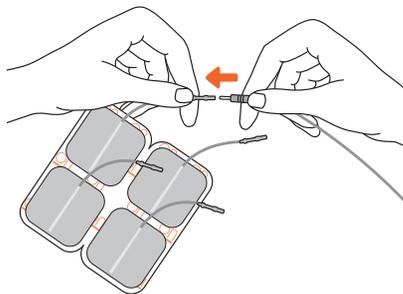
## 粘着パッド A のセットの仕方

※お使いになる前に、粘着パッドAが肌に合うかテストをしましょう。

- ①おなか・腕・太ももの内側など皮膚のやわらかい部分へ、粘着パッドAを貼ってください。(粘着パッドAに接続コードを接続しない)
- ②20分後、粘着パッドAを貼っていた部分が赤くなったり、かゆみを引き起こした場合は、使用を中止してご購入先またはお客様相談窓口までお問い合わせください。
- ③異常がないことをご確認の上、ご使用ください。

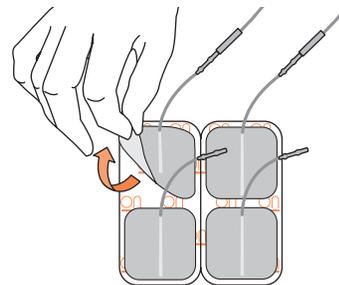
### 1 粘着パッドAと接続コードを接続します。

※必ず接続コードの金属部分が見えなくなるよう根元まで差し込んでください。



### 2 粘着パッドAをフィルムから剥がします。

※粘着パッドAの端をつまんでゆっくり持ち上げてください。  
※接続コード部を持って剥がすようなことはしないでください。



#### ⚠警告 粘着パッドAについて

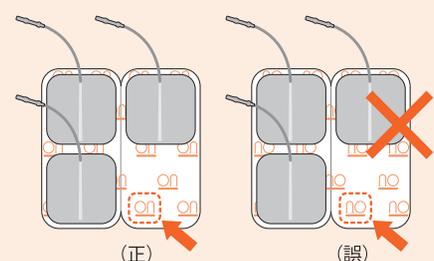
- 湿布や絆創膏などの粘着物によりかぶれやすい方は、注意してご使用ください。かぶれたり、赤くなったりすることがあります。
- 傷のある部位には使用しないでください。
- 皮膚が荒れたり、火傷・炎症などを起こした際は直ちに使用を中止してください。
- 粘着パッドAを使用した際に、発疹・発赤・かゆみなどが現れたときは直ちに使用を中止し、ご購入先またはお客様相談窓口にご相談ください。
- 粘着パッドAを使用する際に、金属物（ネックレス、ベルト、時計など）と重なったり、触れたりしないよう注意して貼ってください。また、粘着パッドAは互いに重ならないように貼ってください。
- 粘着パッドAを貼り付ける際には、必ず皮膚に密着させてください。場合によっては火傷などの皮膚障害を起こす恐れが

あります。

- 皮膚にローション、オイルなど化粧品が残っている場合、または汗や皮脂で皮膚が汚れている場合は、粘着パッドAの粘着力が低下し、付きにくくなります。皮膚を石鹸でよく洗い完全に乾かしてから貼り付けてください。
- 粘着パッドAを皮膚から剥がすときは、必ず本体の電源スイッチを切ってください。
- 使用期限の切れたものや、粘着力が低下した粘着パッドAの使用はおやめください。テープ・バンド・下着などで固定して使用しても、適切な効果が得られないばかりでなく、急激に強い刺激がかかったり、場合によっては火傷などの皮膚障害を起こす恐れがあります。
- 安全に製品をご使用いただくために、製造元で品質管理を実施しております純正の粘着パッドAをご使用ください。模倣品の使用が原因で発生した火傷事故・故障・その他の不具合などにつきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

#### 粘着パッドAの保管について

- 粘着パッドAを保管する際には、透明フィルムの「on」と読める面に貼ってください。「no」と読める面に貼ると剥がれにくく、粘着パッドAの寿命を縮めます。
- 粘着パッドAの使用後は、元の透明フィルムに戻し、袋に入れ、室温で保存してください。
- 粘着パッドAの袋に使用期限が表示してあります。期限切れの粘着パッドAは使用しないでください。
- 粘着パッドAは消耗品です。粘着力が低下しましたら交換してください。



# 低周波治療の準備 (つづき)

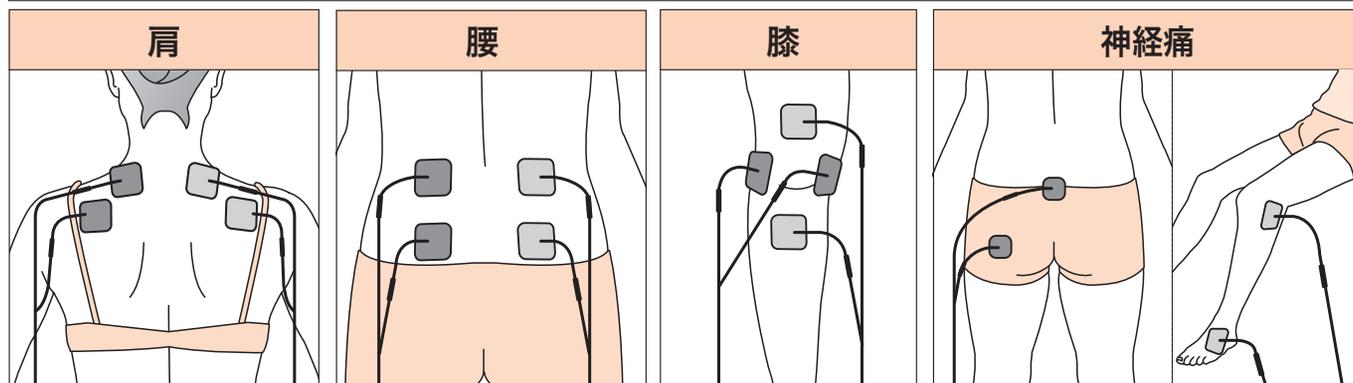
## 低周波治療の基本的な使用例

※粘着パッド A は肌に直接貼ってください。

### ●肩、腰、膝、神経痛

**TENS (テズ)** Transcutaneous Electrical Nerve Stimulation (経皮的神経電気刺激) の略。  
 身体を心地よく刺激し、筋肉のこりをほぐす効果があります。

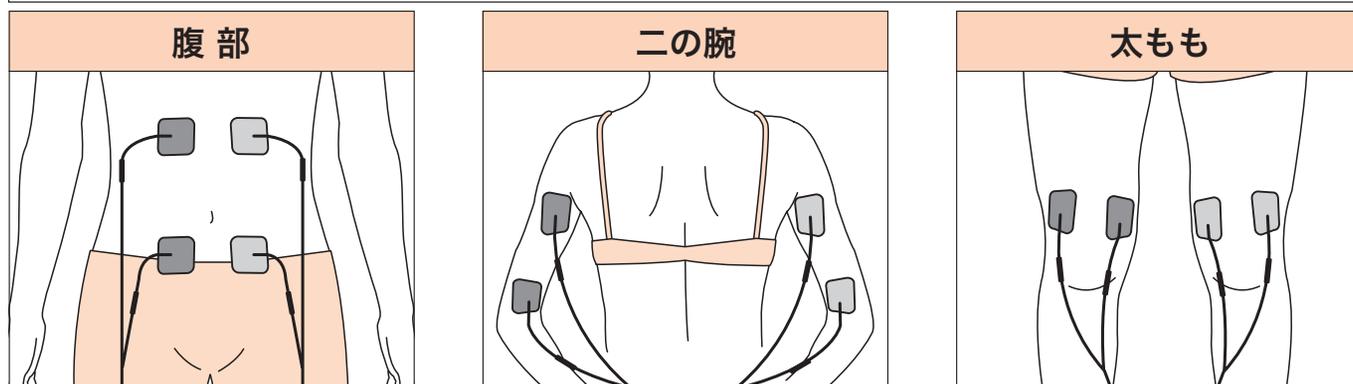
○出力の目安 / 気持ち良いと感じる強さ    ○治療時間 / 20分    ○1日の治療回数 / 1~2回



### ●トレーニング

**EMS (イーエムエス)** Electrical Muscle Stimulation (電気筋肉刺激) の略。  
 筋肉を刺激し、マヒした筋肉の萎縮の予防に効果を発揮します。

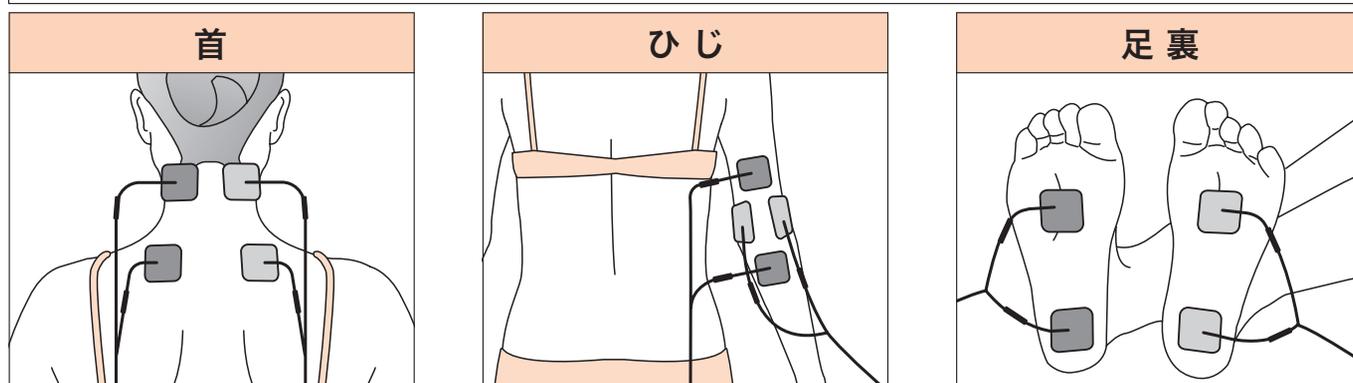
○出力の目安 / がまんでできる範囲の強さ    ○治療時間 / 20分    ○1日の治療回数 / 1~3回



### ●急痛

**MCR (エムシーアール)** Microcurrent (微弱電流) の略。  
 人間の身体にある弱い電流によく似た微弱電流を使用し、筋肉の痛みをやわらげます。

○出力の目安 / 体感はほとんどありません (出力は一定です)    ○治療時間 / 60分    ○1日の治療回数 / 1~2回



# 低周波の操作方法

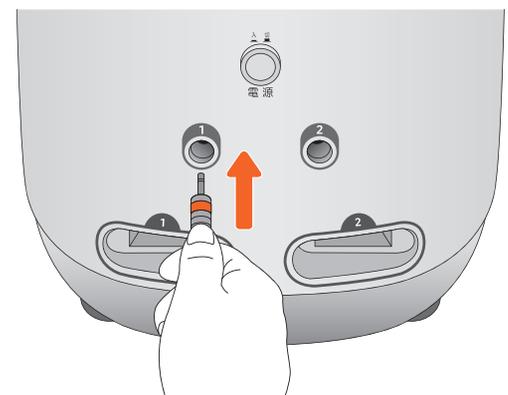
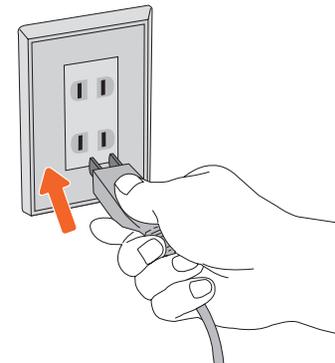
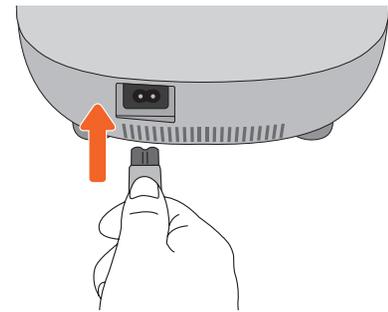
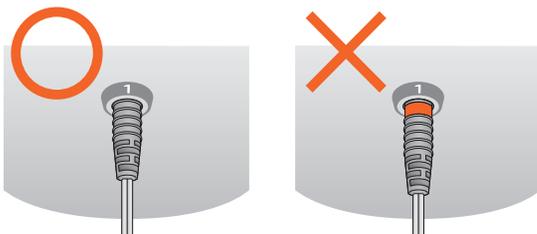
## 1 プラグを差し込む

- 電源コードを本体の電源コード差込口に差し込みます。
- 本体の電源が切れていることを確認し、電源コードのプラグを 100V コンセントに差し込みます。
- セットした粘着パッド A (P.25 参照) を治療する部位 (P.26 参照) に貼り付けます。

※粘着パッド A は肌に密着させてください。汗などで肌が汚れていると粘着パッド A が貼り付きにくくなるので、タオルなどでしっかりと汗を拭きとってください。

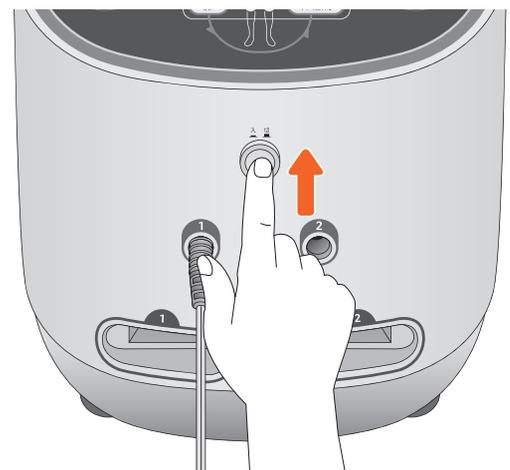
- 接続コードのプラグを低周波出力口に差し込みます。

※プラグの青色のラインが見えなくなるまで、奥までしっかりと差し込んでください。



## 2 電源を入れる

- 電源スイッチを押して、電源を入れます。
- 「治療モード表示 (超短波)」、「治療モード表示 (低周波)」、「超短波出力レベル表示」、「低周波治療プログラム表示」、「ゼロスタート表示」、「治療タイマー表示」が点滅します。



※初期状態では「超短波」モードの出力レベル「弱」に設定されています。「治療モード表示 (超短波)」、「治療タイマー表示」が点灯し、「超短波出力レベル表示 "弱"」が点滅します。

※2回目以降は、前回使用時のモード (出力レベル、治療プログラム) が表示されます。

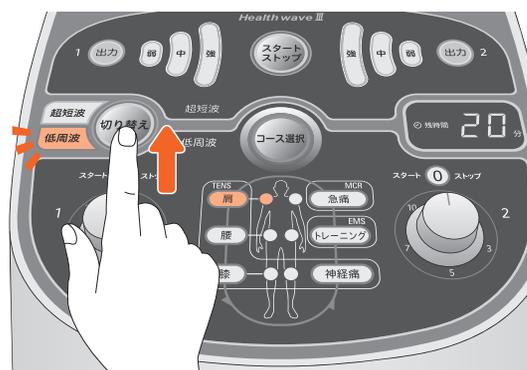
# 低周波の操作方法 (つづき)

## 3 プログラムを選択する

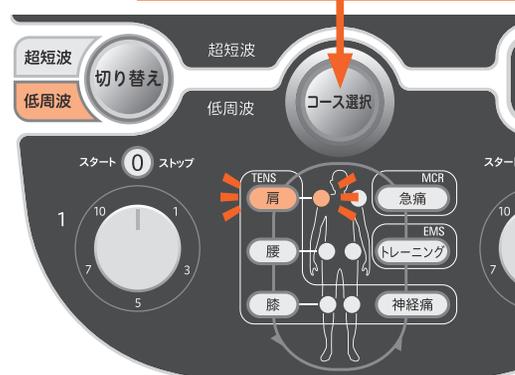
- 治療モード選択スイッチを押し、低周波モードを選択します。
- 操作パネルの表示に合わせて、治療したい部位またはプログラムに応じた低周波治療プログラムを低周波治療プログラム選択スイッチを押して選択します。

※低周波治療プログラム選択スイッチを押すと、低周波治療プログラム表示が点滅します。

- 低周波治療プログラム選択スイッチを1回押すごとに、低周波治療プログラム表示が次のような順番で切り替わります。
- 「肩(TENS)」→「腰(TENS)」→「膝(TENS)」→「神経痛(TENS)」  
 ↑ 「急痛(MCR)」 ← 「トレーニング(EMS)」 ←



低周波治療プログラム選択スイッチ



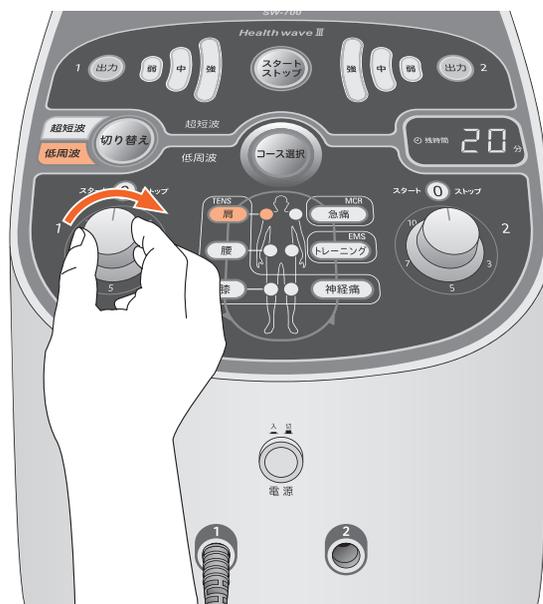
## 4 治療を開始する

- 低周波出力レベル調節つまみを「0」の位置から時計まわり方向にゆっくりとまわし、気持ちの良い強さに設定します。
- ※急痛 (MCR) を選択した場合は低周波出力レベル調節つまみを1～10のどの位置に設定しても出力は一定となります。
- ※急痛 (MCR) は微弱な電流を使用しているため、体感はほとんどありません。

### 〈低周波出力レベル調節つまみについて〉

低周波出力レベル調節つまみが「0」の位置にない場合は、ゼロスタート表示が点滅してブザーが鳴り、出力されないようになっています。

低周波出力レベル調節つまみを「0」の位置に戻し、ゼロスタート表示が消灯したことを確認してからつまみをゆっくりと時計まわり方向にまわし、出力を上げてください。



- 治療タイマー (治療時間) は「肩 (TENS)」、「腰 (TENS)」、「膝 (TENS)」、「神経痛 (TENS)」、「トレーニング (EMS)」が20分、「急痛 (MCR)」が60分に自動設定されます。

※治療タイマーの設定は変更できません。

## 5 治療を中断する場合

- 治療を中断する場合は、低周波出力レベル調節つまみを「0」の位置に戻します。

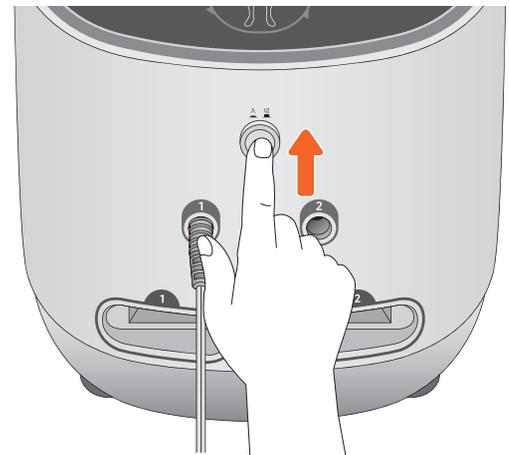
※治療タイマーは「肩 (TENS)」、「腰 (TENS)」、「膝 (TENS)」、「神経痛 (TENS)」、「トレーニング (EMS)」が 20 分、「急痛 (MCR)」が 60 分にリセットされます。

- 治療を再開する場合は「3 プログラムを選択する」(P.28 参照)に戻り、手順に従ってください。



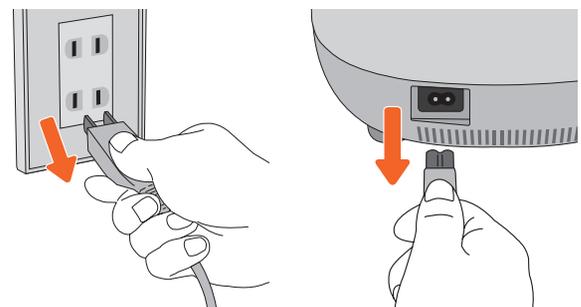
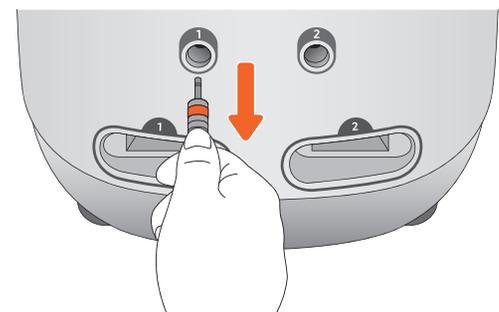
## 6 治療の終了

- 治療が終了すると治療タイマー表示が "0" を表示し、ブザー音が鳴り、出力が自動的に切れます。
- 同時にゼロスタート表示が点滅します。
- 治療を引き続き行う場合は「3 プログラムを選択する」(P.28 参照)に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して電源を切ります。
- 電源が切れると「治療モード表示 (低周波)」、「治療タイマー表示」の点灯と「低周波治療プログラム表示」、「ゼロスタート表示」の点滅が消えます。



## 7 整理、保管について

- 使用した接続コードのプラグを低周波出力口から抜きます。
- 粘着パッドを接続コードから外します。
- 電源コードのプラグをコンセントから抜きます。
- 電源コードを本体の電源コード差込口から抜きます。
- 次の使用に支障がないように本体及び付属品を清潔にし、整理保管してください。
- 付属品は、付属品ケースまたは付属品収納用スペースに入れてください。



# 操作早わかり

## はじめに

- 超短波を使用する場合は超短波導子を治療する部位にあて、装着ベルト〈S・AW〉で固定してください。
- 低周波を使用する場合は粘着パッドAを治療する部位に貼り付けてください。
- 電源コードのプラグを本体及び100Vコンセントに差し込んでください。

## ④ 超短波

超短波出力レベル選択スイッチCH1またはCH2を押して、出力レベルを選択します。

## ⑤ 超短波

超短波出力開始/停止スイッチを押して、出力を開始します。

## ④ 低周波

低周波治療プログラム選択スイッチでプログラムを選択します。

## ⑤ 低周波

低周波出力レベル調節つまみを“0”の位置から時計まわり方向にゆっくりとまわし、出力を調節します。

## ③ 超短波

## ③ 低周波

治療モード選択スイッチで治療モードを選択します。

## ② 超短波

## ② 低周波

電源スイッチを押して電源を入れます。

## ① 超短波

超短波出力口に超短波導子のプラグを差し込みます。

## ① 低周波

低周波出力口に接続コードのプラグを差し込みます。



本取扱説明書の注意事項をよくお読みになり、正しくお使いください。

# 故障かな?と思ったら

症 状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない。	電源プラグが100Vコンセントに差し込まれていませんか？	電源コードのプラグを本体及び100Vコンセントにしっかり差し込んでください。
超短波が出力されない。 ブザー音が鳴る。	導子のプラグが本体の出力口から抜けていませんか？	導子のプラグを本体の出力口にしっかり差し込んでください。 超短波出力開始/停止スイッチを押してください。(エラーが表示されている場合はP.11参照)
低周波出力レベル調節ツマミをまわしても出力されない。 ブザー音が鳴る。	接続コードが本体の出力口から抜けていませんか？	接続コードのプラグを本体の出力口にしっかり差し込んでください。
	ゼロスタート表示が点滅していませんか？	低周波出力レベル調節ツマミを「0」の位置に戻し、ゼロスタート表示が消灯したことを確認してから、ツマミをゆっくりとまわしてください。(エラーが表示されている場合はP.11参照)
	粘着パッドAが肌にしっかりと貼られていますか？	
低周波を使用しているときにチクチクと不快な刺激がある。	粘着パッドAが古くなり、粘着力が低下していませんか？	粘着パッドAを肌にしっかりと貼り付けてください。粘着パッドAは消耗品です。粘着力が低下しましたら、交換してください。
検波器が発光しない。	検波器の使用方法は間違っていないですか？	検波器の使い方に従って使用してください。(P.24参照)

## 愛情点検



愛情点検

長年のご使用の場合はぜひ点検を！

このような症状はありませんか？

- こげくさいにおいがする。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常がある。

ご使用中

故障や事故防止のため本体の電源スイッチを切って、電源コードのプラグをコンセントから抜いた上で、ご購入先またはお客様相談窓口までお問い合わせください。

## 保証とアフターサービス

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

### ●保証書（別に添付してあります）

お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」・「ご購入先名」欄の記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

**保証期間** お買い上げ日から1年間

### ●補修用性能部品の保有期間

当社はこの治療器の補修用性能部品を、製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼される時

P.31 に従って対処方法をお調べいただき、なお異常があるときは、使用を中止し、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いた上で、ご購入先にご連絡ください。

### ●保証期間中に修理を依頼される場合

ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。（なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。）

### ●その他ご不明な場合

アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合わせください。

### ●保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

まずご購入先にご相談ください。修理により、製品機能が維持できる場合には、ご希望に従い有料にて修理いたします。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** 修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## お客様相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

フリーダイヤル

☎0120-027612

受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分

※但し、土日祝日、年末年始は休ませていただきます。

FAX・E-mail での受付も行っております。

**FAX番号** 06-6644-9103

**E-mail**

フジ医療器ホームページのお問い合わせフォームにて受け付けております。  
（ホームページ）<http://www.fujiiryoki.co.jp>

FAX・E-mailでの受付は24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

### ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくための、ナンバーディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

地球の環境保護の為、破棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めに従ってください。

販売元



美と健康の総合メーカー  
株式会社 **フジ医療器**

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

製造販売元：伊藤超短波株式会社

〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-8 ☎048-254-1020

お客様へ…ご購入年月日・ご購入店名を記入されると便利です。

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名	TEL		